



進路だより

～きぼうの道～

秋田県立能代支援学校
進路指導部 NO.2
令和5年6月23日発行

高等部3年生前期実習

高等部3年生

現場実習

5月29日(月)～6月9日(金)【10日間】

高等部3年生の現場実習は卒業後の進路を決定するための大事な学習です。実習を通して生徒によっては「ここで働きたい」「ここで生活をしていきたい」といった声も聞かれ、徐々にではありますが、卒業後の自分がどうありたいかを見つめることができているように思います。今回の経験を通して、余暇の過ごし方を含め、卒業後の生活を具体的に考えていくことができた実りあるものとなりました。

今後、進路実現につなげるために進路をどのように考えていくか保護者の方と面談を行い、個別実習を実施することになります。今後ともご理解、ご協力をよろしく申し上げます。保護者の皆様、10日間、お子様への励ましや送迎等、ありがとうございました。

担当 黒木 良介



テラタ鹿渡店



さくら園



チョコのしろ



プラザ都



大湯つくし苑



ねむの木苑



秋田エコブラッシュ



伽羅



ショートステイみんなの家

14名の生徒全員がやり遂げることができました！！

高等部進路学習 就業支援セミナーの様子

高等部2年生 職業1グループ
5月29日(月) 3、4校時

5月29日(月)能代市が主催する就業支援セミナーが行われました。秋田市にある株式会社ドゥファインの佐藤洋子様を講師に迎え、「社会人としての心構え」という題名でご講話いただきました。

2年生1グループ6名が参加し、現場実習に行く際に大切なこととして「第一印象」「身だしなみ」「挨拶」についてお話しがあり、挨拶に関連してお辞儀の仕方については実際にやってみながら会釈、中礼、最敬礼の3つのお辞儀について教えていただきました。生徒たちは、緊張しながらも集中して話を聞く様子が見られ、第一印象が最初の15秒で決まると教わったときには驚いた表情をみせていました。また、今回教わったことをこの後の実習や卒業後の生活に生かせるようにしたいという感想も聞かれました。

今年度は、後期にも1年生も参加して2回目を実施する予定です。

担当 橋本 基



進路指導、進路活動は高等部から？「継続は力なり」

高等部主事 畠山幸司

高等部は、自立(子どもから大人へ)と社会参加(学校から社会へ)をより意識した学習が中心となります。

自立については、学校生活全般で青年期の発達(自己理解・自己選択・自己決定・自己責任)の力を身に付けることを意識した学習、社会参加については、卒業後の生活(進路実現)につなぐ体験活動を中心とした学習を行います。

進路実現に向けた体験活動の代表が現場実習です。一人一人の進路は違い、その進め方も違います。働く力も内容も違います。これまで学校や家庭で学んだ知識や技能の力試しの実習を行いながら、進路をより具体的に考えていきます。

ところで、「進路は高等部に入ってから」とよく耳にしますが、進路指導は小学部入学から始まっていると思っています。進路実現を意識するのはまだ先でも、日々の生活の中で働く力「技」は育まれていると感じています。

例えば掃除。はき方、ゴミや物の拾い方、入れ方、ふき方など、一つ一つが「技」であり、丁寧さと正確さ、速さの段階もあります。毎日出るゴミの始末は、家の中のごみ箱からゴミ袋へ入れる。曜日ごとの町内ゴミ回収場所へ運ぶ。という決まった活動です。ゴミ箱の中身をごみ袋に入れることや分類する、袋を綴じる、回収場所へ運ぶなども「技」です。

食事でも考えてみると、子どもたちにとって一日2回は家庭等で食事をします。食卓に並べた食べ物だけに注目せず、食事の準備段階から一緒に活動してみると、冷蔵庫からの出し入れ、簡単な調理、盛りつけ、配膳、下膳や洗い、整理整頓など多くの「技」があります。

日々の生活の中でもできる活動を継続する中で、意識して「技」を試し、「技」を身につけていけるようにしていくことが働く力を育む進路活動の一步と確信しています。